

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

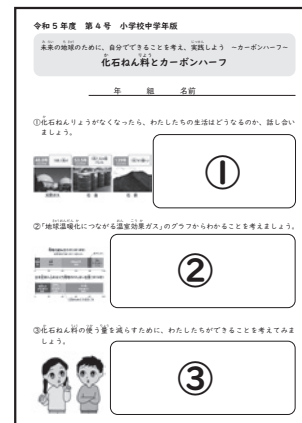
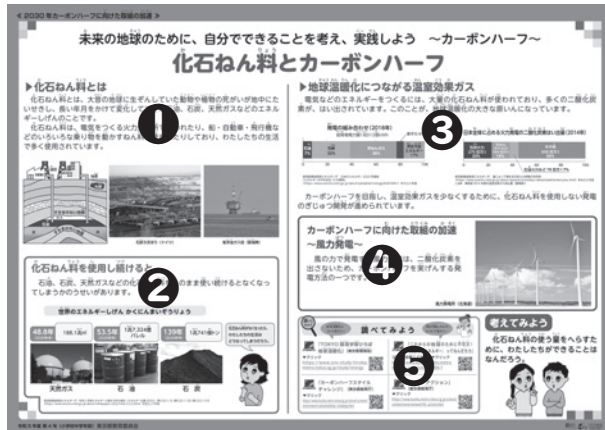
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～ 化石ねん料とカーボンハーフ

①表題



②ねらい

- ・化石燃料について知り、化石燃料には限りがあることを理解する。
- ・化石燃料から電気をつくる際に、地球温暖化の原因である温室効果ガスが発生することを理解する。
- ・カーボンハーフを実現するための、発電における取組を知る。
- ・自分たちが参加できる温室効果ガス削減方法について話し合い、実践しようとする態度を育む。

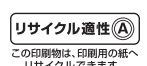
③本教材で扱う 主な内容

化石燃料の生成と枯渇、化石燃料と温室効果ガスの関係、カーボンハーフを実現することのできる発電の取組、自分たちができる温室効果ガス削減対策

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○揭示用教材①を見て、化石燃料について知る。	○化石燃料について説明する。	◆揭示用教材①
○揭示用教材②を見て、化石燃料が無くなったら、私たちの生活はどうなるのか、話し合う。	○化石燃料には限りがあることを説明する。	◆揭示用教材② ◆ワークシート①
○揭示用教材③を見て、気付いたことを話し合う。	○発電と温室効果ガスの関係や化石燃料に依存する日本の現状など、気付いたことを発表させる。	◆揭示用教材③ ◆ワークシート② ■東京都環境局 TOKYO 環境学習ひろば 地球温暖化
○揭示用教材④を見て、風力発電について知る。	○温室効果ガスを出さない発電技術について紹介する。	■広報東京都こども版 これからの地球のために不可欠！ 「再生可能エネルギー」ってなんだろう
○揭示用教材⑤を見て、化石燃料を使う量を減らすために、私たちができることを話し合う。	○リンクなどを参考に、自分が取り組むことのできるカーボンハーフを考えさせ、話し合わせる。 ○話し合った中から、自分が取り組むことを決めさせ、発表させる。	◆揭示用教材④ ◆揭示用教材⑤ ◆ワークシート③ ■東京都教育庁 カーボンハーフスタイルチャレンジ 「HTT」アクション

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



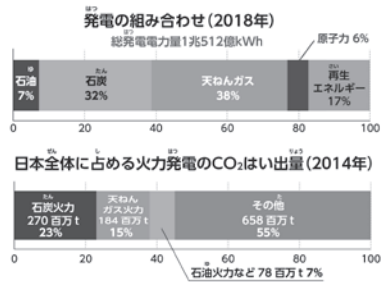
みらい ちきゅう
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ~カーボンハーフ~
か りょう
化石ねん料とカーボンハーフ

年 組 名前

①化石ねんりょうがなくなったら、わたしたちの生活はどうなるのか、話し合いましょう。



②「地球温暖化につながる温室効果ガス」のグラフからわかることを考えましよう。



③化石ねん料の使う量を減らすために、わたしたちができることを考えてみましよう。

